

実績確認概要書

平成 27 年 11 月 10 日

審査機関名 シー・アイ・ジャパン株式会社

1 . 排出削減事業の概要

排出削減事業名	フィルム工場におけるボイラーの更新 (A 重油 A 重油・天然ガス)
承認番号	JCDM-PJKC1319
排出削減事業者名	フジコピアン株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構
その他関連事業者名	
事業実施場所	岡山工場 (岡山県勝田郡勝央町大平台 12 番地)
事業の概要	本事業は、工場で使用しているボイラーを高効率の機種へ更新するとともに、一部を重油からガスへの燃料転換にすることにより、二酸化炭素排出量を削減するものである。
排出削減量の計画	2012 年度 : 268 tCO ₂ /年 2013 - 2016 年度 : 6,524 tCO ₂ /年 2017 年度 : 1,363 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 8,155 tCO ₂)
クレジット認証期間	事業開始日 2013 年 1 月 31 日 終了予定日 2018 年 1 月 30 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2 . 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日 ~ 2015 年 3 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

3 . 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた

結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	3,886 tCO ₂ (2013年4月1日～2015年3月31日)
--------------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
<p>排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること</p>	<p>1) 実績対象期間の確認 第1回目の実績確認期間と重複せず、適切に設定されていることを確認した(2013年4月1日)。 また、排出削減量の算定は、この開始日を基に適正に計算されている。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 更新後蒸気ボイラーは実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における個別メーターの記録・LNG供給会社からの請求書等により確認した。</p>
<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること</p>	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) モニタリングの方法 承認排出方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認している。</p> <p>2) 活動量の正確性 A 重油使用量は、個別メーターの記録を集計すること、LNG使用量は燃料供給会社からの請求書記載の使用量から気化器の使用量を差し引くことにより適切に把握していることを確認した。その記録結果については、正しく実績報告書に反映されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、方法論及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。 また本事業において、リーケージ排出量は発生しないことを確認している。</p>
<p>算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は2013年4月1日から2015年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間がクレジット認証期間</p>

いこと	の終了日である 2018 年 1 月 30 日を超えていないことを確認している。
-----	--

5 . 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

特になし

6 . 特記事項

本モニタリング期間における省エネルギー量について、原油換算 267.1KLであることを確認した。

以上